

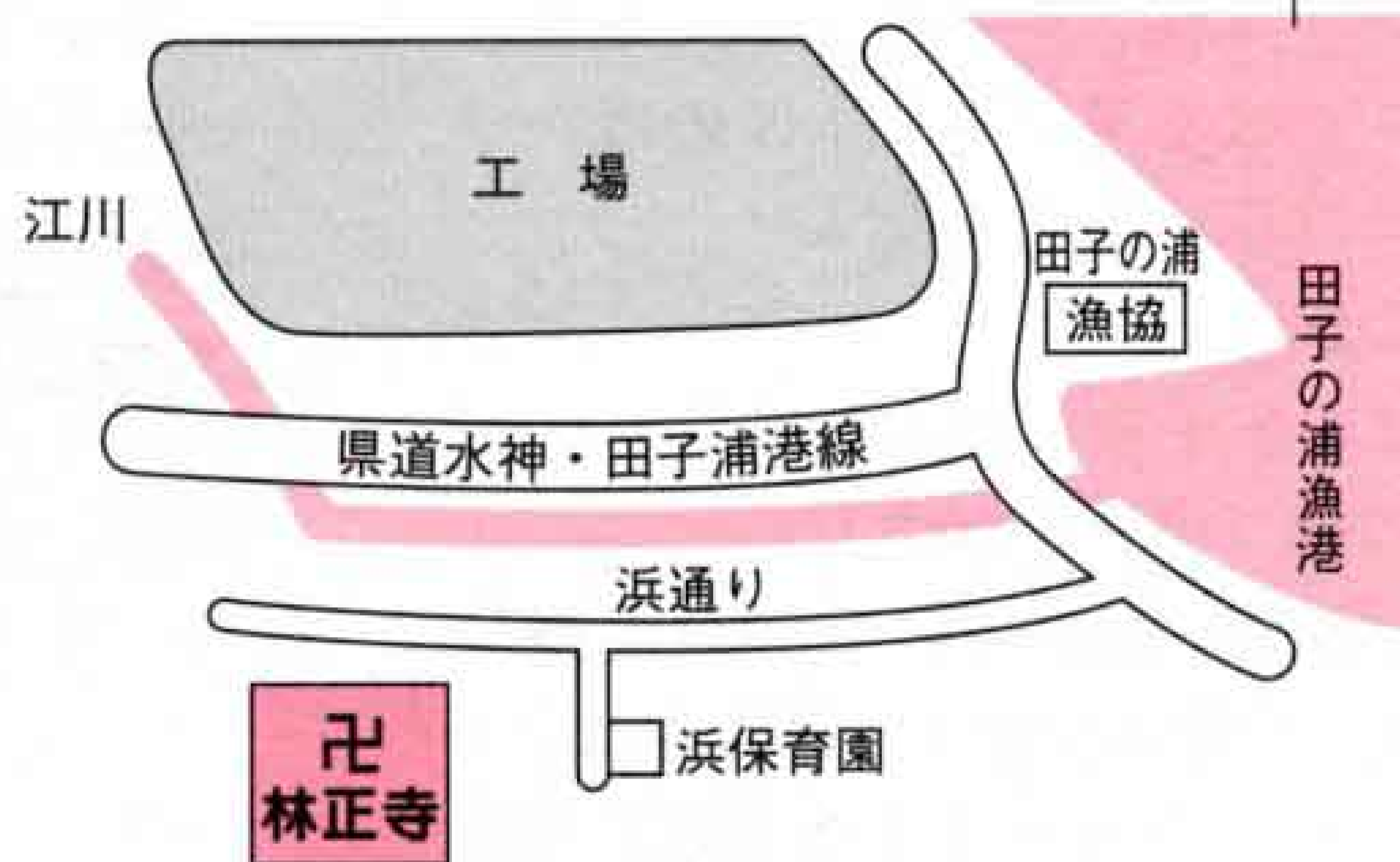
さ め じ ま ま と い だ い こ

鮫島纏太鼓



第4回

4



林正寺 御会式 10月20日(土)

昭和六十三年、鮫島に住む人
たちで「地区の連帯感を持てる
ような何かを」との声が高まり、
創作太鼓の練習を始めました。
それからしばらくたって、鮫島
にある鮫島山林正寺(日蓮宗)
のお上人さんが、「総本山身延山
久遠寺の御会式で行われている
纏太鼓を、鮫島でもやったらど
うか」と、地区の人たちに話を
しました。

その話を聞いた人たちが、「ど
うせやるなら、鮫島に住む子ど
もたちが誇りの持てるものにし
よう」とそれから約二年間、身
延山まで纏さばきを習いに何回
も通いました。こうして、平成
三年に創作太鼓に纏を加えた鮫
島纏太鼓ができました。これを
きっかけに、同年四月鮫島纏太
鼓保存会が結成され、現在は三
十一人の会員で、二十代から五
十代まで幅広い年代の人が活動
するほどになりました。

毎年十月下旬の土曜日に行わ
れる、林正寺の御会式では、保
存会の人たちが、勇壮な纏さば
きを披露しています。

※御会式：日蓮聖人の命日(十
月十三日)を中心に日蓮宗関係
の寺院で行われる儀式。



鮫島纏太鼓保存会会長
米山 猶幸さん(鮫島)

鮫島纏太鼓保存会のできた当
時、仲間の中で一番年上だった
ということでも会長を引き受けま
した。昨年、発足十周年を迎え、
頑張ってきた本当によかったと
思いました。

主な活動は、田子の浦みなど
祭り、鮫島区浜路まつり(八月
第一土曜日)、林正寺御会式、
ふるさと芸能祭での発表などで
す。ほかにも福祉施設などへも
呼ばれて披露することもありま
す。お年寄りが手をたたいて喜
ぶ姿を見るとうれしくなります
ね。

纏の重さは約九キログラムあ
り、なれないと重くて大変です。
現在は、纏をさばく二十代の若
手も育ってきました。

私の夢は、鮫島纏太鼓が地区
の子どもたちに受け継がれ、数
百年も続く伝統芸能になること
です。欲張りでしょうか(笑)。

こちら編集室

毎年、広報ふじ8月5日号の特
集のテーマは「戦争と平和」。今
回の特集をごらんになって皆さん
はどのような感想をお持ちになっ
たでしょうか。

取材を通じ、私の平和な子ども
時代と比べ、その違いに驚くこと

ばかり。戦争を体験した皆さんの
言葉からは、生きることのとうと
き、平和への熱い思いが伝わっ
てきました。

21世紀の歴史に再び「戦争」の
文字が登場しないようにしなけれ
ばいけないですね。

人口 241,230人 (前月比+2)
男 120,123人 (-31)
女 121,107人 (+33)
世帯 82,118世帯 (+88) 7月1日現在
編集・発行 富士市総務部広報広聴課
〒417-8601 静岡県富士市永田町1-100
☎51-0123(代) ㊚51-1456

